

9月15日・敬老の日

70歳以上のお年寄り1925人

九月十五日は敬老の日です。町ではこの日に満七十歳以上のお年寄りを対象に敬老会を開催しています。今年も総合体育館で敬老会が開かれ、九四四人が参加しました。

今年の敬老の日は、お天気に恵まれたせいも総合体育館の会場にはたくさんのお年寄りが敬老会に参加しようと、元気な姿を見せました。

敬老会に94人が出席

今年の敬老会対象者は、大正十三年九月十六日以前



敬老会

今年、長寿祝金を受けた



記念品などを代表して受けた皆さん

に生まれた満七十歳以上のかたで、男六八四人、女二四一人で、そのうち敬老会の参加者は九四四人でした。(参加率は四九・〇％になります。)

式典は、浅妻町長の式辞のあと、記念品贈呈、長寿祝金贈呈、老人保健無受診者記念品贈呈などが行われました。

そのあと、町議会議長の祝辞があり、佐藤忠六町老連会長がお礼のことは述べ、続いて済生会新潟第二病院病院長の後藤司郎さんの講演『健康と老化予防』を聴き、町老人クラブ連合会によるアトラクションを楽しみました。

90歳以上のかた52人

なか、町内の九十歳以上のかたは下表のように一〇〇歳の久住政治さんを筆頭に五十二人(男十九人、女三十三人)です。

* 90歳以上の皆さん

氏名	自治会	性別	年齢	氏名	自治会	性別	年齢
久住 政治	緒立	男	100	坂井 アキ	板井一	女	93
五十嵐治郎	黒鳥五	男	96	寺地 トク	寺地下	女	93
中村庄次郎	下山田	男	95	鈴木 イシ	黒鳥一	女	93
山口仁三治	善久西	男	94	田村 イシ	新田町	女	92
五十嵐松太郎	木場新田	男	93	古川 ミセ	八区	女	92
小原喜三治	五区	男	92	斎藤 キヨ	寺地本村	女	92
河内幸一郎	中学通	男	92	小林 キヨ	新田町	女	92
丸山 勇郎	寺地団地	男	92	菅川 ヨシ	鳥原新地	女	92
近藤久五郎	二之町	男	91	浅妻 キヨ	五区	女	92
堀 貢	立仏二	男	90	原 キヨ	黒鳥二	女	91
丸山 助六	板井三	男	90	栗山 ヨシ	山田第三	女	91
佐藤市次郎	柳作二	男	90	栗山 ソノ	山田第三	女	91
鈴木 五藏	五区	男	90	風間 トシ	立仏一	女	91
相田 市松	黒鳥五	男	90	曾山 タカ	板井四	女	91
田辺 四平	板井二	男	90	長谷川 カネ	鳥原新田	女	91
佐野 醇	寺地下	男	90	白井 キノ	小平方	女	91
深沢 平一	新町	男	90	山際 ヨシ	木場八割	女	91
山際 藤司	木場上組	男	90	渡辺 トミ	蓮方団地	女	90
小林 スキ	川原	男	90	小林 ヨシ	新田町	女	90
高橋 川ノ	八区	女	98	小川 サキ	寺地本村	女	90
長谷川 キ	北場	女	97	丸山 セム	新町	女	90
源川 ミ	金巻	女	97	吉田 セム	鳥原本村一	女	90
高井 ス	黒鳥四	女	96	遠藤 ノブ	焼附団地	女	90
加藤 マ	興野一	女	95	小出 トイ	興野一	女	90
栗原 ミ	寺地下	女	95		蓮方団地	女	90
	諏訪町	女	94		男 19人	女 33人	
	木場上組	女	94				

黒埼町史のひろば

②

町史『資料編3近代』で、郷土の偉人・

山際七司と自由民権の動きを追ってみよう。

今年春に刊行された『黒埼町史 資料編3近代』は、明治維新から昭和20年の敗戦までの、町の政治・経済・教育などの資料をまとめたものです。中でも、山際七司らが明治十年代に活躍した自由民権運動に関する資料はこの巻のハイライトといえます。編集・解説を担当された横山眞一・長岡農業高校教諭にお話をうかがいました。

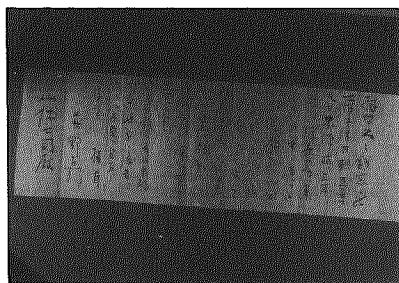
木場出身の自由民権運動家、山際七司の肖像写真



『黒埼町史 資料編3近代』が出ましたが、約九百ページのうちの約百ページが自由民権に関する資料です。特に木場出身の山際七司は、自由民権運動で活躍した町出身の偉

人として知られ、関係資料が多数収められています。山際七司の評価という点ではどうなのでしょう。横山 山際七司は、明治十年代の自由民権運動の高揚期に

は、新潟県内の運動をひたひたとしていくリーダー役として、また中央の政治活動に参画して積極的に活動したという点で、評価されています。ただ晩年、特に第一回総選挙後に立憲自由党から除名され、国民自由党を結成するなどして、県内の民権運動を分裂させる原因の一つとなってしまいました。この晩年の時期についてはよくわからないこ



萩野左門が山際七司にあてた書翰

ともありますので、今後より一層の研究が必要です。黒埼の民権運動はどんなものだったのでしょうか。横山 山際七司のほか萩野左門、山添武治らが活動しましたが、それが地域全体の運動だったのかどうかは、疑問です。運動の活発だった地域です。勉強会などが行われてい

たという資料が残っています。黒埼ではそういう資料が見あたりません。自由民権運動の章を編むにあたって、特色を出そうとしたのはどんな点ですか。横山 新潟県での自由民権運動の資料は新潟県史に基本的なものが載っています。黒埼町史では、それを補う形で、特に山際七司らの書簡を多数、収録しました。書簡はこれまで断片的に紹介されてきましたが、まとまった形では初めてでしょう。これで、山際七司らがどう考え、動いていたのかがうかがえる資料集になっていると思います。

横山 そうですね。通史編が読みたい、と思われれるのですが、この資料編だけではちょっと読みにくい、と思われるのですが。横山 大量にある山際文書のうち、黒埼に直接関係しなくとも県内や中央の動きのわかる資料を収録します。それと、明治八年から亡くなる二十二年までの日記があり、全部は無理ですが、ある程度掲載します。今回の資料編ではほとんど収録してませんから。



近代と自然の2巻が出ています

『黒埼町史 資料編3近代』は明治維新から昭和20年の敗戦までの、自由民権運動をはじめとする黒埼の政治・経済・教育などに関する資料を収録しました。B5判897ページ。頒布価格は1冊5千円(税込み)。

『黒埼町史 資料編5自然』も刊行されています。町内の動植物や気象・地質などの自然環境を、B5判オールカラー386ページにまとめました。頒布価格は1冊1万円(税込み)。

どちらも、役場2階の町史編さん室で取り扱っています。お問い合わせは、☎377-3101 内線232か233までどうぞ。